

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2161回★ 愛宕山	2月8日(日) JR嵯峨駅 9:00集合	三橋 勉 (581-3562)	嵯峨駅…水尾岐れ…愛宕山… (表参道下山)…清滝
備考 1. 参加者は事前に担当者に連絡して下さい。			
第2162回★★ 奥美濃スキー登山 野伏ヶ岳 (△1,674.3m)	2/14(土)～15(日) 壬生 7:00集合	井戸 澄夫 (822-9181) (内 810)	14日 京都-羽島IC-白鳥・ ウィングヒルスキー 場(スキーを楽しむ) -石徹白(民宿予定) 15日 石徹白…和田山牧場… 野伏ヶ岳…石徹白
備考 1. 参加者は事前に担当者に連絡して下さい。 2. 民宿泊まりの予定です。山スキーの用意をして下さい。			
今月の集会 日時 2月10日(火) 18:30 場所 厚生会館 4F 大教室		企画運営委員会 日時 2月19日(木) 18:30 場所 厚生会館 4F 大教室	



今年の初登山はあいにくの雨で、湖北の雪景色を期待していた向きには残念至極であった。それでも暖かい豚汁をつついて、皆で氣勢を上げた。地球温暖化の影響か、以前なら雪が降っていたはずなのに雨になる日が多い。1月になって関東地方を中心に大雪が降り、長野方面もやっ和本格的な積雪があって、オリンピックも雪の心配がなくなったようである。それでも油断は禁物である。寒さが長続きせず、春の陽気が早くやってきそうな気がする。

新年会では、恒例により皆さん新年の抱負を語った。寂しかったのは、毎年味わい深いお話を聞かせていただいた、京交山岳部初代部長の近藤氏の姿がなかったことである。体調が思わしくないとのことであるが、一日も早く回復して元気なお姿を見せてほしいと思う。来年はいよいよ創部50周年になるということで、記念誌や記念登山へのとり組みについて話の花が咲いた。

地下鉄東西線の六地藏延伸も、大蔵予算がついて、いよいよ今年春には免許申請である。来年の秋には工事に着手できる状況となろう。2005年の完成が目標である。六地藏延伸の次は洛西方面への延伸について本格的な検討にはいる。また、竹田から南、洛南の新都心へ向けても、発展のためには地下鉄が必要不可欠である。

最近、ちらちらと市電復活論がでてきている。欧米での成功例を引きあいに出しているが、専用軌道で定時性が確保できるなら、京福電や叡電のように十分に市民の足となり得るものであろう。しかし、京都の市電は車との共存が不可能となったため消え去ったわけで、復活するためには車に対する強力な規制についての社会的コンセンサスを得られるかどうかポイントになろう。

(H.10.1.18 記. S.I.)

十二支の山 牛ヶ峰山 二等 712.8m

大 倉 寛治郎

97年干支の山をシリーズで登る計画をたて何とか10山を登ることが出来た。まず1月の初登山京都府亀岡「牛松山 629.8m」から始まり、3月三重県度会町、南勢町との境にある「牛草山 550.3m」、4月は京都府南山城村と滋賀県信楽町境「牛場山 647.2m」、5月奈良県竜神村、和歌山県十津川村の境「牛廻山 1,207m」、6月には山梨県大月市と塩山市の境「牛奥ノ雁ヶ腹摺山 1,985m」、8月は岐阜県高山市と大野郡朝日村の境「牛首山 1,408m」、と7月例会の延期富山県庄川町利賀村の境「牛岳 987m」、10月石川県小松市で国道416号線にある「牛ヶ首峠 400m」、11月岡山県高梁市の「臥牛山 478m」、そして12月は、兵庫県美方郡温泉町と鳥取県岩美町との境にある標高713mの牛ヶ峰山である。

この山行も娘の家からJR二条駅前への待ち合わせ場所へ着くと、既に三橋さんは地下鉄東西線で来ておられた。続いて森本さんと原田さんが到着、私と孫（聡志）の5人でシリーズ最後の山行となる。通い慣れた国道9号線、京都縦貫自動車道を走り須知で9号線をひたすら走り夜久野ドライブインで休憩、2、3日前に降った雪がまだ残っていた。霧が立ち込め登るだけの山行に終わると思っていたら、八鹿町を通過する頃には雲の切れ目から日が差し込み、村岡町では冬とは思われぬポカポカとした陽気の日差しがせまってきた。

車内の温度も上がり汗ばむほどだ。車外の風景は畑や、山の上部にはまだ残雪が残っていた。温泉町を過ぎ千谷の集落へ“おもしろ昆虫館”のあるところを左折して、少し行くと内山出合いのバス停がありそこを右へ取る。道路はあまり広くはないが舗装された登り坂とカーブのつづくみちとなる。最後の集落「越坂」をすぎさらに行くとも道路は大きくカーブして右手に墓があり、左には竹やぶがある。車は道路が広がった所に止める。登山口は30mほど進むと竹やぶとの切れ目の所にある。50mほど入ると鳥居がありくぐって行くと道は二つに分かれている。そこを右へ取る。この道は山頂にある社への道で広くよく手入れがされていた。杉の植林を過ぎ登って行き雑林帯へでると視界も開ける。少し前に降った雪が20～30cmほどあり気温も高く風も無く快適に雪の上を歩くことが出来た。

尾根筋に出ると右には日本海、左にはニューおじろスキー場がのぞめた。枝道があるが広い道の尾根筋を行くと植林帯となり石の階段を登ると水平道となっている。正面に小屋が見える神事の時に使用したと思われる大きな建物である。この手前の石段を登ると大変立派な社殿がある。内容は分からないが但馬地方の牛の神様を祭ったのではないかと推測した。三角点は社殿裏の茂みと、植林の中をかき分300m程行くと開けた所に二等三角点牛ヶ峰山の頂に着くことが出来た。展望は南の扇ノ山からすこし東の方向が望める程度であった。風も無く穏やかな山頂であった。

社殿まで戻り昼食を済ませ往路下山，湯村温泉に浸かり帰路に着く。

「修理に出したカメラが再度故障していてこの山行の写真がまったくダメだったので香住へ行つたついでに12月21日家族を登山口で待たせて，単独で再行し今度は別のカメラで三角点を収めることが出来た。当日は小雨で雪は無かった。おもしろ昆虫館を家族で見学しやはり湯村温泉に浸かり胡麻の家へ」。

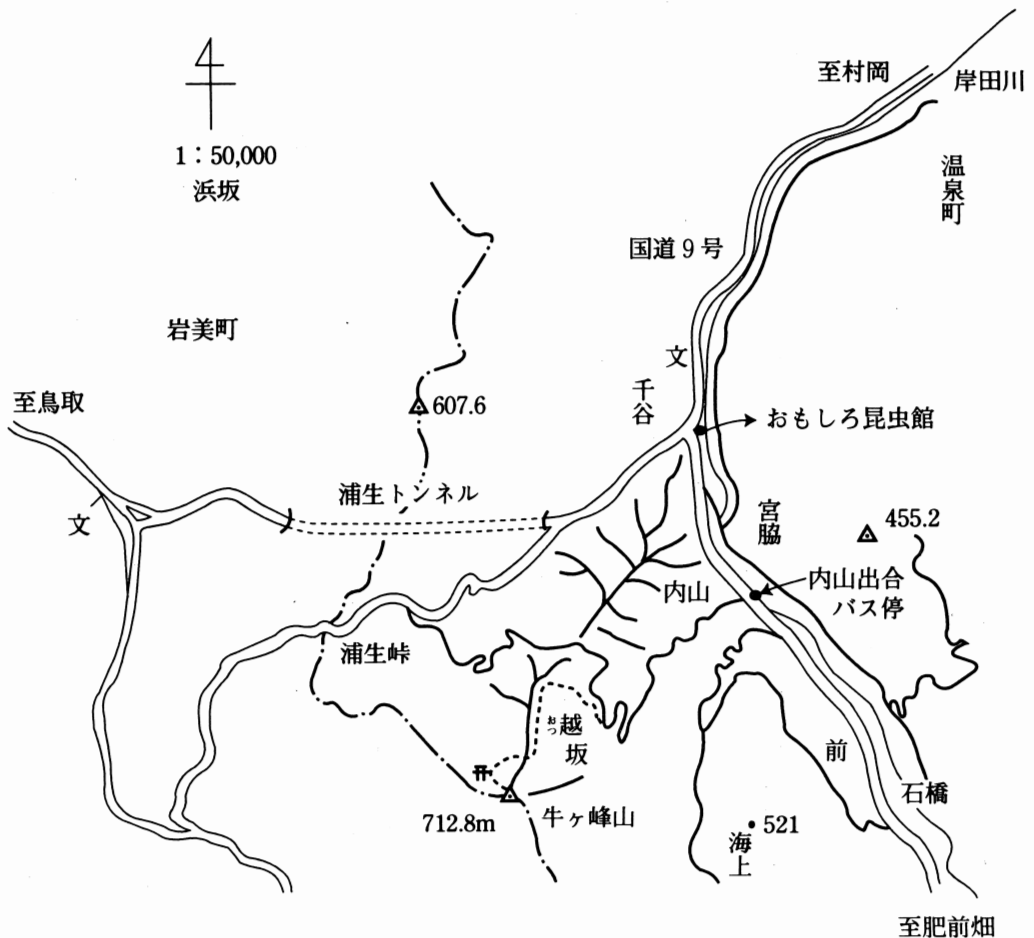
牛ヶ峰山の社殿のことを尋ねると詳しくは分からないが御霊は麓の神社へ移したと言っておられた。この1年牛のシリーズを付き合ってくださいくださった皆様有り難う御座いました。

【参加者氏名】

三橋 勉， 森本清一， 原田加津子， 大倉寛治郎， (孫) 聡志

【コースタイム】

JR二条駅 6:13 夜久野ドライブイン 8:04 ~ 26 登山口手前 11:05 ~ 20 神社 11:03
牛ヶ峰山二等三角点 11:08 ~ 22 神社 11:28 ~ 12:35 登山口手前 13:00 ~ 08
湯村温泉 13:26 ~ 14:08 阪急桂駅 18:00



平成9年納山祭（保津峡）

山岡 昭弘

烏丸線北々伸開業，東西線開業……と大イベントのあった平成9年も，もうすぐ過ぎようとしている。

山岳部も，井戸部長になり，はや3回目の納山祭となる。ここ数年，毎年違った場所で納山祭を行っており，今年は交通の便が良いJR保津峡駅下の保津川の辺（ほとり）で行われることとなった。

当日昼過ぎ先発組が壬生に集合，途中買い出しをしながら現場に向かう。午後3時過ぎに現場に到着，準備を始める。いつもながら感心（感動）させられるのは，先輩諸氏の手際の良さ。参加者のために段差のある所に梯子を作ったり，キャンプファイアーの火床を作ったり，電球をぶら下げたり……。あっという間に準備が整ってしまった。

今日のメニューは，網焼き，鍋もの，そして新人M君お手製のおやつ……とグルメ山岳会の名に恥じないよう，多彩にきめてみた。後発組の到着を待ちきれず，宴を始めることにする。続々と後発組が到着。宴も賑やかとなってくる。

腹具合も良くなり，宴も一段落着くと，各人思い思いの時間の過ごし方が見えてくる。これも個性の多様化の現れか。同じ場所で，同じ時間に，同じものを食し……，お互い，共有できるものがただそれだけ，それだけでも意味があるのかなと思いつつ，そういう自分も，思い思いの時間に浸って行ってしまった。

翌朝は少し朝寝ぼう気味。前夜もそうであったが，12月にしては比較的暖かく感じる。これも地球温暖化の影響かと思いつつ，シュラフから抜け出す。

前夜の宴の残りも含めて朝食を作り，皆さんにきれいに片付けていただく。要は調理法のみか……。

朝食の後，「来た時よりもきれいに！」をモットーに，各自手分けをして後片付けを行い，今年の納山祭も無事終了した。

参加された皆様方，おつかれさまでした。

[P. S.]

今回の納山祭では，退職されてOB部員になられた方々からのご寄付金により購入させていただきました。

・発電機（ホンダ）

100V 500W

・ツバーナガスコンロ（イワタニ）

さっそく使用させていただきました。ご寄付をいただきましたOB部員の皆様に対し、あらためて御礼申し上げますと共に、部員諸氏の丁寧かつ有効な利用をよろしくお願いいたします。

【参加者】

井戸、大槻、岡田、方山、坂井、田村、堀田、松浦、馬淵、三橋、鷺見（敏）、鷺見（寿）、渡辺、山岡、他1名

【第2158回例会】

初登山 虎御前山

三橋 勉

雨降りにもかかわらず、集まったのは参加申し込みの半分（9名）で、いつものマイカーではなくひさしぶりJR京都駅7時45分発乗車（片道1,450円）の電車利用の山行きである。

米原駅で乗り換えの間に、うどん屋さんを捜すと、この時間帯はホームではなく、新幹線の待合室にあった。

北陸線はローカル線らしく天井の高い電車で寝台車の改造車両であった。途中で直流から交流に切り換えのため車内灯が一分ほど消え、惰力で走っていた。やがて虎姫駅につきドアを手であけてホームに立つと、めざす山の上にアンテナの鉄塔が見えた。

この雨降りに山へ行く物好きな中高年のグループ（男1名女4名）がもう一組あり、伊勢から朝5時に草津線経由で、青春18キップでやって来たとのことであった。

いざ出発となると傘がない。確かリュックから出したのにどこに置いたのか、駅の待合室をあちこち捜している間に、もうみんな出発していただれない。ひろげて置いてあったので分からなかったのだ。虎姫駅9時半にみんなを追いかける。本来なれば民家がなくなりあたりがよくみえるところだが、残念ながら今日は見通しが悪い。それでも左前方のガスの中にぼんやりと横山が見えた。

必然的に同じところへ行くのもう一つのグループとも同行する形となり、おばちゃん達と話ながら歩く。平成元年の初秋に余呉駅から賤ヶ岳に登り右手に琵琶湖を眺めながら横山まで縦走したことなど説明する。

町外れの公園でポリ容器6本に水を補給して、石段を登って行くと神社があり、その右手を少

し下ると、平行していた先ほどの車道に出た。車道はその先でゲートがあり、なおも進むと左へカーブしていて、右手の山道をジグザグに登ると広場に出た。ここがキャンプ場になっていて、丹羽秀長陣地跡の標石があった。

荷物をデポしてさらに進む。アンテナの鉄塔目指して行くと、やたらと車の騒音でやかましい所である。雨でかすんでいてあたりが見えないが、地図で確認するとすぐ近くを北陸自動車道が通っているからであると納得する。

鉄塔のある所へ着き、そこからは小道が続いていて、左手の小高い丘を行くと三等三角点があり、交通局のマークに服部と記してあった。

だんだんブッシュのある悪路となって、軟弱なドロ道となり、長靴をはいて来てよかったと思った。本来なれば雪道を歩いていてもおかしくない時期である。

なおも尾根道を登り下りして行き、ケヤキの林を越えて10時25分、虎御前山頂上に到着した。駅から1時間かかったことになる。残念ながらガスで展望はなし。関本君の名刺があり、帰ってから聞くと2日の日に奥さんと来て、須賀谷温泉に入って来たと言うことであった。須賀谷温泉の近くには、片桐且元のお墓があると岡田君から聞いた。

バンザイ三唱し、縦走して次の駅から帰る別グループと別れ、我々はもときたルートに戻る。戻る途中、巻くようにハイキング道の案内がある所を真っすぐに登ると秀長陣地跡に出た。秀長陣地跡の広場まで戻ったところ、タイミングよく雨も上がって、本日のセレモニーの準備をする。寛ちゃんが大きなリュックに、豚汁の材料などエッセンの一式をもって来てくれたので、早速準備にかかる。

いつもだとビールで乾杯と言う所だが、寒いので熱燗とワインで乾杯する。本日の参加者を紹介すると、担当者の大倉君、井戸部長、岡田元部長、吉田副部長、久しぶりの坂田先輩、竹田君、若手の松浦君と清水君、そして小生の9名である。11時から12時50分まで、ゆっくりすごす。

ホロ酔いきげんになり帰り道を歩いて行くと、山の会の山崎さんの車に会った。車3台での例会で、長浜の山に行ってきたので、遅くなったということであった。

虎姫駅に13時20分に戻り、54分発長浜行きに乗車、長浜駅で14時10分発の新快速姫路行に乗り換え、山科駅15時9分着で帰って来た。

【個人山行】

納山祭後の山旅

坂井久光

12/20保津峡駅下へ部員有志一同が集まり、深夜迄楽しく飲み且つ食い歌って一夜をテントで過ごし、21日大槻さん・鷺見夫妻も来訪された。昨夜から参加した山崎大造氏と一同と別れて中国山地の山旅に出発した。

神明峠を越え亀岡より9号線に出て福知山、夜久野を越え和田山を通り養父から西へ谷川沿いに大屋町へ向かい、宮垣から水芭蕉群生地の看板の立つ林道を走って点名夏梅711m二等三角点へ牧場地帯を進んで無線塔の建つピークへ。駐車して塔の横の藪山を登って三角点へ。始めてと思って山崎氏と来訪したが、S54.9.9に一等三角点研究会長の三谷氏と大徳山556mから縦走して登ったことが、帰って鳥取20万分の1図を見て登調帳を調べて判明した。

二人で万歳三唱後撮映して下山。次いで西に走り北へ下って関宮町に出て9号線を走り村岡～湯村温泉を通して宮脇から左折して、大倉さんの登った丑年の山々の峰へ二人で登った。山頂に神社があり牛の守護神とか。二等三角点713mで丑年の最後を惜しむ山だ。

蒲生峠のトンネルの西に出て岩井温泉へ行き入浴して更に西に進み、鳥取から湖山湖を通り鹿野町の公園で車泊。

22日はそこから峠を越え三徳山の駐車場で駐車。昨年雪で残した投入堂で有名な三徳寺のある二等三角点900mに向かった。本堂も石段や坂を登った中腹で、投入堂は更に峻嶒で嶮峻な登路を登らねばならない。急な岩や根の自然登路は途中の観音堂や地藏堂等懸崖造りで登って下界を眺めると足下は千仞の谷で冷汗ものである。

途中一服して投入堂を拝観し、立入禁止の縄のある山路（踏跡程度）へ入り、岩峰の腹を通り、崖縁をへびつて岩峰の尾根に出て根曲竹の藪中の尾根を登り雪の積もった稜線に出て杉林の中を登って藪の中に対空標板のあるピークに登り三角点を発見二人で万歳三唱。

小憩後下山して三朝の手前で右折、東郷温泉に向かい途中川上川で右折して峠から鉢伏山514mへ向かった。駐車場で無線塔の建つ山頂を二人で捜したが三角点の中々見つからなかった。コンクリートで囲った松の生えた一角があり、横からよじ登って見たらそこに二等三角点があった。二人で万歳三唱後下山。東郷温泉の国民宿舎で入浴し湖畔で車泊。

翌23日は羽合温泉へ行って見たが9時からでないと入浴出来ず、倉吉を通り地藏峠から蒜山高原に向かったが雪の為かゲートが閉まり、仕方なく引返す途中二等三角点512mを見付け二人で駐車して笹の茂る切開きを下りコルに出て尾根筋を辿って山頂へ。2・3のピークを越えたが犬狹峠の国道に出てトンネルを越え蒜山原を走り峠を越え毛無山の登山口で駐車。谷沿いの林道を登り積雪5cmの谷道から尾根道に出てブナの原生林の急坂を登り山頂直下の休憩小屋で一服して1,218mの三等三角点へ登頂。雪が降り展望不良。二人で万歳三唱後すぐ下山した。その

後湯本温泉へ行き、露天風呂に入り車泊。翌24日湯本の南の星ヶ山の北尾根の櫃ヶ山954m三等三角点へ、昔京交の畑さんや牧さんと三人で登った山で、星ヶ山一等三角点へ縦走して神庭の滝へ下山した思出の山だ。

登山口から標識があり良い道が続いて山腹をまいて尾根筋に出て急坂を登りカヤ原に出て山頂へ。展望雄大。南に星ヶ山、東に霰山、北に蒜山始め既登の山々が見えた。下山に天狗堂や天狗の森（原生林）を通り下山。

その夜も湯本で泊り、帰路雉を買って夕食は雉の焼鳥と雉鍋でクリスマス・イブを祝い入浴車泊。翌25日北に向かい中和村から東へ山形山に延びる舗装林道を走り峠を越えた津黒山二等三角点の東方で駐車。古い切開きを登ったが旧牧柵らしきものが残っておりやがて根曲竹の群叢中に没いっした。高度差や距離は大したことはないが、積雪と藪がひどく、積雪も中途半ばで笹が寝ず悪戦苦闘だった。下から見て大体判っていたが手前に登山路があったが開いてもらえずのおつき合いで、久しぶり北海道の太櫓山の藪を思い出した。山頂に立ったが三角点は探し出せず、下山はブナ林へ逃げ谷筋に出て元に戻った。

次いで大谷峠から北へ下って山麓の村で駐車。林道を登り牧場風の若杉山1,071m三等三角点へ。途中で中年夫婦と行違った。今山行初めての登山者との出会いだった。その後下山して大谷峠から南下して奥津温泉で入浴後車泊。翌26日雨で国道9号線経由帰路、平成9年度の山旅を無事終了した。

平成10年の新春登山は山崎大造氏と友人二人と地元の老人松村竜三郎氏の案内で空山595m三等三角点へ下山の白土部落から、毘沙門堂跡を通る旧参道の良い道（殆ど雑木林）を通して登った。此の山はS51.11.24に下山の嶺部落から谷筋を通して登っている。

現在広域林道が谷筋では完成北側でも工事作業中で山腹を縫って美山町方面に延びていた。

例会報告

例会 No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	備考
2155	十二支の山 牛ヶ峰山	12月6日		大倉寛治郎	三橋, 森本, 原田, 大倉 F 1	(別稿詳報)
2157	納山祭 保津峡	12月20日 ~21日		井戸 澄夫 山岡 昭弘	岡田, 大槻, 坂井, 三橋, 鷺見(敏), 鷺見(寿), 渡辺, 田村, 方山, 馬淵, 堀田, 松浦	(別稿詳報)
2158	初登山 虎御前山	1月4日	雨	大倉寛治郎 三橋 勉	岡田, 井戸, 吉田, 坂田, 竹田, 清水, 松浦	(別稿詳報)

部員動静

目的地	月日	天候	参加者	記事
納山祭後の山旅	12月21日 ~26日		坂井 久光	(別稿詳報)
武奈ヶ岳	1月17日	晴	山元 誠一 他1名	<p>残雪期のような重～い雪を踏みしめて、中峠から武奈の山頂を目指した。中峠からのルートは金クソ峠からは沢沿いの道を滑らないように注意し、中峠～コヤマノ岳はトレースの浅い道をラッセルを強いられながら進むことに。</p> <p>しかし、ブナ林の美しい樹氷が疲れをいやしてくれました。山頂は青空の下、風も弱く、360°の展望を楽しめました。そして何んと大発見!!山頂から初めて日本海を見ることができたのです。</p> <p>【コースタイム】 イン谷口 9:00 … 青ガレ 10:00 … 金クソ峠 10:35 10:50 … 中峠 11:30 … コヤマノ岳 12:15 … 武奈ヶ岳 12:40 (昼食) 13:45 … 八雲ヶ原 14:20 14:35 イン谷口 16:05 … 比良駅 16:50</p>

雑 報

△△△ 新年会兼集会

日 時 1月8日(木) 18:30～
場 所 松尾橋「網船小島」
参加者 OB 山村, 坂井, 森本, 鷺見, 渡辺, 三橋, 国友
本局 岡田, 大槻, 井戸, 方山, 上村, 田村, 竹田, 山元, 井上, 清水,
堀田, 松浦
梅津 吉田 高速 大倉 以上21名

〔新年の抱負〕(1月8日新年会にて)

- 三 橋 今年マイペースの山行をしたい。
- 岡 田 去年は田中忠久君が亡くなって残念だ。
今年定年だが、山は現役でいつまでも続けたい。
昨年山行は30回、延べ40日程度で、半分くらいが例年参加だった。今年も同じくらい行きたい。
- 田 村 去年は最低1山と言ったが、12月に愛宕山に登った。
今年も車の回送をしますのでよろしく。
- 堀 田 ちょっとずつ山の楽しさを感じ出している。
1人脱落したら楽になるのは山登りも仕事も同じですね。今年も頑張ります。
- 竹 田 今年も初登山に参加して、すべり出しは上々です。しかし、去年はあと2回しか行けなかった。今年私の年まわりなので頑張りたい。
- 清水(康) 去年の今頃は90kgだった体重が94kgになった。山登りで80kgを目指したい。
- 上 村 ほとんど参加していないが、今年はやさしい登山に参加したい。
- 井 上 去年は1山も登れなかった。今年低山歩きをする気はある。
- 大 槻 去年は病氣入院し、お世話になりました。こうして新年のあいさつができるのがうれしい。納山祭は朝に参加して、初登山は杵掛山、3日には大文字山と、それなりに登っている。今年皆さんの後からいこかと思っています。

- 吉 田 去年はなみはや国体の主任審判をやり、48山登った。
北海道や九州にまだ登っていない山が多いが、ヒマはあるが金がない。今年も山を満喫したい。
- 山 元 去年は伊吹や毘沙門にスキー登山し感激した。今年も行きましょう。
- 松 浦 去年6月に入部してやっと半年ですが、楽しい山行ばかりです。苦しい山行もしたいです。
- 山 村 昭和47年に退職したが、その時松浦君は1歳だった。
去年正月、牛松山でダウンしてしまった。アメリカの筋力補強仕様書を見て、おもりをつけて体操している。今年はそろそろ結果を出して、山登りを再開したい。
- 坂 井 去年は平ヶ岳、浅間山で百名山を完登した。あと8山で1,500山になる。十津川の天上岳を1,500山目に予定しているので、ごいっしょしたい人はどうぞ。
- 渡 辺 去年は奥ゆかしい山行をさせてもらった。今年も深く静かに登らせてもらう。
- 方 山 去年は山スキーが印象に残った。今年も行きたい。
- 鷺 見 町内会長も2月には終わるので、今年も山へ行けると思う。
50周年記念登山、海外も国内も期待しています。
去年は北海道へ行くつもりだったが高校総体に代わった。今年も例会も出したい。
- 森 本 今、まさかかりの66歳です。ますます登山に精出しています。
去年は高校総体に参加した。今年もいい経験をさせていただきたい。
- 大 倉 去年、遠いところに転居して1年経った。例年の集合場所に苦勞します。去年は十二支の山として10山登った。
今年のエト(寅)の山は、山は少ないがネームバリューのある山を捜して登りたい。また、若手の育成に力を注ぎ、レベルアップを図りたい。
- 井 戸 毎年、月1回の例会参加を目標にしているが、去年は14回で始めて達成した。今年も月2回といたいのが、無理と思うので、1年で18山を目標にします。来年の7月には、創部50周年だが、輝かしい伝統を私がつぶしてしまったということにならないよう、皆さんと共に頑張りたい。

△△△ 12月の企画運営委員会

日 時 12月18日(木) 18:30～
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 井戸, 吉田, 大倉, 山元
内 容 2月例会ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

1月号 青嶺, 一等三角点, 木雞, 北山, 京都山岳, 趣味の登山, 比良山岳

家庭用品 } 総合卸 商社
衛生用品 }

日華商事株式会社

本店 京都市南区上鳥羽大物町13番地
☎ 601-8121 電話 (075) 672-6101(代)
FAX (075) 661-7332

八坂運送有限公司

京都市伏見区醍醐新町裏町24番地の4
TEL (075) 571-1108

帆 布・濾 布
テント・シート
雨 合 羽

木村工業有限公司

京都市中京区ミブ車庫前
TEL 801-5331 (代)

西大路営業所
下京区西大路七条下ル
TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

今、アウトドア派大集合!!

- 登山用品はもちろん、
注目のスポーツ
カヌーをはじめ、
ひと味違う充実の
品揃えは必見のもの!!



株式会社 **ロッジ**
LODGE

営業時間 AM10:00～PM9:00 (年中無休)
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)
TEL. 075 (222) 0363 FAX. 075 (223) 5256

京都で唯一の山の専門店

Now Outdoor sports

ハイキング&キャンプ・クライミング
アウトドアウェア・US製用品
ポータブルカフト用品

Mountain

〒604-0931 京都市中京区二条通河原町西入
TEL 075(256)-0546
営業時間 AM10:00 - PM8:00 毎週火曜定休
(株) スポーツ コニシ

葦よしのすい隨ぞから天井を覗く… ㊸

何十年振りかで冬の札幌へ行く。土曜日の会議を済ませスキノで軽く飲んでホテルへ戻る。翌日曜日は朝のミサに出て新千歳へ向った。予定の16時になっても関空行きが飛ばない。降り出した雪で滑走路の除雪が追いつかないのだ。出発予定が段々引き延ばされ、とどのつまり空港閉鎖で全便キャンセルになり、空港ロビーはパニックに陥った。近傍のホテルはすぐぐまりあやうく野宿するところであった。JALもANAももう少し適確な情報を流して対処出来なかったのか。

制作 ㈱北斗プリント社
〇七五―七九一―六一二五
(文責 波多野)



建設省国土地理院発行地図販売特約代理店
国土地理院空中写真(カラー・白黒)取次
通産省地質調査所発行各種地質図取扱店
各種地図製作並びに印刷
地形図は、20万・5万・2万5千とも全国を常備しております。

株式会社 小林地図専門店

〒600-8150 京都市下京区烏丸通上珠数屋町東入る(3軒目北側)
☎(075) 351-6598(代)

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品
仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

サンコークラフト

西島輝雄

左・川端丸太町下る下堤町88
TEL (075) 771-3442

平成10年2月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

京交山岳部